

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2013.8.22 No.126

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>



連日のゲリラ豪雨 続発する大雨・洪水注意報…

杉並区内で水害等が発生 水害対策に全力を

**集中豪雨により区内全域で様々な被害
二十一日には善福寺地域で再び冠水**

八月十二日(月)の集中豪雨により、杉並区内で、浸水被害・大規模な停電・落雷による火災等、様々な被害が発生しました。

また、二十一日(水)にも短時間の局地的な集中豪雨により、善福寺地域などで道路の冠水や床下浸水等の被害が発生しました。

連日、大雨・洪水・雷などの注意報が出されており、今後も予断を許さない状況です。

**早急な対策が必要不可欠
下水道局に申し入れも**

現在、杉並区内全体の被害状況は調査中ですが、「被害認定調査」依頼が数十件に上っており、被災者支援や水害対策などが緊急の課題となっています。

二十三日(金)には、都下水道局に対し、吉田信夫都議と共に「下水道管の容量拡大」などを求めて申し入れを行います。



短時間(20分程度)の集中豪雨により、冠水した善福寺地域(1-20付近)。



住宅街のマンホールから水が噴き出す。川の氾濫ではなく、窪地の住宅地に周囲の水が流れ込むために発生する浸水被害。

↓のラインまで水が溢れた床下浸水の被害。一週間程度で二度の被害となった。



第三回定例会で対策を求めます

九月より始まる第三回定例会では、区が水害地域の正確な実態把握に取り組むことや道路の浸透舗装化、宅地内の雨水浸透施設の設置など、水害対策の拡充を求めます。



清水地域で落雷による火災も発生。電気コードから火が出たが、住民が在宅中だったため、消し止められた。

裏面に続く

まずは、お問い合わせを！ 災害被災者への各種支援について

応急処置について

○災害見舞金の支給

風水害により住居等に床上浸水（事業所は土間上浸水）等の被害を受けた場合。

○家屋等の消毒

水害等により浸水の被害を受け、感染症の恐れがある場合には、屋外への薬剤散布を行なう。

○畳替えのあっせん

○ごみの収集

家庭から生じた被災ごみ（衣類・家具・畳など）の収集は、各管轄の清掃事務所が行なう。

○応急小口資金の貸付

住居等に被害を受けた世帯で当座の復旧資金を必要とする場合、被災の状況等に応じ最高50万円までの資金貸し付け制度がある。所得制限あり。

○住宅修築資金の融資あっせん

○住宅の相談

○被災建物の被害認定調査

被災世帯に調査員（区職員）が伺い、建物（住居・事業所）の被害状況について調査する。各種支援を受けるにあたり認定調査が終わっている必要がある。

【被害認定基準の目安】

◆床上浸水

住家における浸水が床面（畳敷きは、畳を除いた床面）以上に達したもの。

◆床下浸水

住家における浸水が床上浸水に達しないもの。

◆土間上浸水

事業所建物（店舗、工場、事務所など）における浸水が建物内の床面（土間コンクリートなど）以上に達したもの。

○被災証明書の発行

上記調査の結果、被災したと認められる世帯に対して、租税等の減免、各種保険への申請手続き等に必要な証明書を発行する。

問合せ先

杉並区役所 地域課 地域係 03-3312-2111

山田耕平 携帯 090-9973-0941

被災者支援へのご相談はお気軽にご連絡ください。

災害被災者の方は、まずは「被害認定調査」を受けてください。認定調査により、行政が実施する各種支援を受けることができます。

被災したら、被害認定調査を 特別区民税・都民税の減免なども

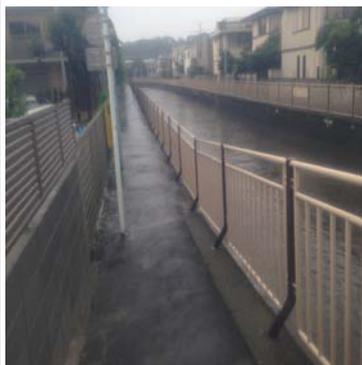
今週のーコマ

恐るべき都市型水害…

21日の集中豪雨では、12日の被害地域を見回りにしていたため、冠水時から現場に立ち会うことになりました。

ゲリラ豪雨から20分も経たないうちに、下水溝から水が噴き出し、アツという間に膝部分まで冠水しました。

水かさが増す勢いが極端に早いため、車の移動や土嚢の積み上げが間に合わない住宅が続出し、それぞれの住宅の支援や関係所管への緊急連絡、土嚢の要請などを行ないました。



道路冠水時点で善福寺川は溢れていない状況

宅地化や道路舗装が進むことにより雨水が土に浸み込まず、一気に窪地などに流れ込む“都市型水害”の恐ろしさを痛感しました。

緊急の対策は待った無しです。

荻窪消防団第三分団も出動

緊急時にはポンプにて排水も！

連日発生している集中豪雨による浸水被害は、様々な地点で同時多発的に発生するため、消防署だけでは対応出来ないこともあります（12日の水害発生時）。

そうした際は地域の消防団が重要な役割を果たします。土嚢の積み上げや消防用ポンプによる強力な排水も可能です。

21日に発生した浸水被害では、私の所属する荻窪消防団第三分団にも出動を要請し、直ちに現場に駆け付けてくれました。

連日の集中豪雨への対応など、消防団の役割がますます高まっています。



21日の水害発生時。消防署員と共に、直ちに現場に急行してくれました。